

第93号

し ら さ ぎ

三〇周年を迎えるにあたり

より質の高い支援を

施設長

藤村

友弘

早いもので、あゆみが丘学園が開園して三〇年が経過しました。これもひとえに、行政関係者をはじめ保護者や地域の方々のご理解とご協力のお陰と感謝を申し上げます。

三〇年を振り返ってみますと、昭和六〇年四月に社会福祉法人丹後更生センターあゆみが丘学園として、現在の本館建物が出来、知的障害者入所更生施設として定員六〇名でスタートしました。当時一八才から六〇才代だったと思いますが、養護学校を卒業される方、自宅から作業所へ通所されている方、自宅で家族の方と生活をされている方、児童施設に入所されている方、病院に入院されている方等さまざまで、それぞれ生活スタイルが違っており、新たに始まった学園での慣れない生活習慣に戸惑いがあったのではないかと思います。

日常の生活の中では、午前と午後に作業の時間を設け、学園敷地内に花壇を造成したり、地元地主さんから田畑をお借りして農耕作業を行い、野菜作りや稲作りに取り組みました。また、入所者の方のエネルギーの発散と気分転換、健康維持・増進のために散歩にも取り組み、少しずつ入所者の皆さんも学園での生活に慣れてこられ落ち着いた生活

ができるようになりました。夏期と冬期の帰省の期間も二週間ずつあり、学園での生活で以前と変わった所、成長した所をご家族の方に見てもらおう機会として多くの入所者の方が帰省されました。

当時の行事は、春に「強歩遠足」。学園を朝徒歩で出発して丹後縦貫林道大内線を上り、広場で弁当を食べ、同じ道を下り学園に帰ってきました。夏には、網野町の海に海水浴に行き真夏の間も体験しました。秋に、五十河小学校跡グラウンドをお借りして「あゆみが丘学園大運動会」を実施。運動会当日に向け入所者の方と職員で応援合戦の練習にも取り組みました。当日は、保護者の方にも大勢参加を頂き大盛況でした。

開園して三年後からは、毎年泊旅行を、入所者のほぼ全員の参加と保護者会のご協力により実施してきました。大型観光バス三台で滋賀県の紅葉パラダイスを皮切りに近畿・四国・北陸・東海・中国・九州方面へ行くことができました。静岡県館山寺温泉への旅行は、はじめて新幹線を利用して浜松駅の二分間の停車時間内に、入所者・保護者・職員全員が下車でき、歓声の拍手が上が

り、やれば出来る実感しました。また、二〇周年を記念して、二泊三日で北海道への旅行もしました。二泊三日の荷物準備や、飛行機を利用した初めての旅行でしたので、搭乗手順について何度も何度も打ち合わせを行い、無事に終えることができホッとしたこともありました。皆さんにとつて心に残る記念旅行になったと思います。

年を重ねるごとに、高齢化と重度化が進む中で、開園当時から行っていた「強歩遠足」「海水浴」「運動会」の開催、稲作や農耕作業も継続が難しくなりました。又、二泊旅行についても二回に分けて実施するようになり、数年前からは費用の関係で隔年の実施とせざるを得ませんでした。

障害者自立支援法の施行に伴い当園は、平成三年一〇月に生活介護施設入所支援事業に事業移行し、利用者の方々の個別支援の充実に向けて取り組みを進めて参りました。また、日中の活動の在り方についても検討し、少額ではありますが工賃を支給して、買い物や外食等に使用し利用者が意欲的に活動に参加しようという意識づけにつながっています。

今後も、利用者の状況や制度が変わっていく中で、入所施設の役割も変わり、必要とされるサービスやより質の高い支援が求められていく中で、さらなる発展を目指して職員一丸となり邁進していく所存ですので今後ともご指導ご鞭撻を切にお願い致します。

昭和60年4月、この五十河の里にあゆみが丘学園が開園されました。思えば遠くに来たもんだ!! 早30年、あんな事、こんな事がありません。保護者、職員さんに思いを込めて書いていただきました。

30年の節目について

保護者会長 服部 仁

現在、学園始まって以来の大事業を計画推進されていますが、利用者の居室改善を要望したことから端を発した事業であろうと思います。病院のように一時的に利用する施設は4人でも仕方ないことですが、終生生活する場ともなれば、プライバシーの侵害が懸念されます。これが解消されると利用者は開放感が得られます。他方、国内では大きな地震、風水害等々。予期せぬ自然災害の事案が発生しています。このことを考えると弱者である利用者が安全と安心で過ごせる施設として、永く存続することを願うのは保護者として当然のことです。

光陰矢のごとしと言いますが、年の経るのは早いものです。30年の節目として思うことは、利用者は園外活動を通じて食の楽しさ、遊びの楽しさと、園内行事を楽しむことで、三楽の喜びを持ってこれていると思います。益々元気で、あゆみが丘学園でのこの

楽しい生活が送れたら最高の幸せであろうと思います。

笑顔

支援部副部長 永岡 朋美

開園30年。利用者の方々、保護者の皆様、そして職員と共に30周年を迎えられる事ができた事に感謝しております。

私もあゆみが丘学園に足を踏み入れ20年がたち、考えると人生の半分を学園で過ごしてきた事になります。社会人1年生だった当初は、利用者の支援が私にできるのだろうか？と不安に思う時もありましたが、先輩職員の優しく時には厳しい指導により、ここまでやってこることが出来たように思います。

この間、楽しい事ばかりではなく、時には悩み、時にはつらく悲しい出来事もありましたが、他の業種では得る事ができないであろう利用者の方々の笑顔、感動や喜び、命の尊さ、人の温かさを感じる事ができました。

開園から30年たち、今後更に重度、高齢化していきます。私達支援員は、利用者1人々を大切に、言葉で伝えられないサインを見落とす事がないよう心掛け、きめ細やかな支援を行っていかなければいけないと感じております。今後もあゆみ



が丘学園に對しまして、保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

回想・・・思いっくままに

生活支援員 井上 俊文

そういえば、ベンチに座っていたら、利用者さんとまちがわれたことがある。リハビリ室でカバーしていると、ここにはカバーの職員はいないのかと言われる。パソコンが苦手。保護者との世間話は大好き。運動会で利用者のゼッケンを付けて紛れて走ったこともある。高校3年までは無口であった。過去1年半だけ、営業マンだった。出身地と見た目で17年間農耕班だった。文字が汚い職員ワースト3に入っている。30歳から熱を出したことがない。もう定年前ですかとよく聞かれる。

ある時期から採用される男性職員の見た目がスリムでイケメンになってきた。生まれてこの方、痩せているというコメントをもらったことがない。小太りは長生きできると最近言われているが、あまり自身の慰めにはなっていない。こんな私は学園が楽しく大好きだ!!



創立30周年記念によせて

保護者 寺田 美保

創立30周年記念おめでとうございます。一口30年、何と長い月日でしょうか。施設長始め、職員の皆様方の努力の賜と感謝しております。

正美がお世話になってから早や20数年がたち、45歳となりました。初めの頃は運動会もあり、黄色い声援を送ったものでした。毎年の旅行にも誘っていただき、日頃を忘れて楽しませていただきました。北海道には2泊3日で、機体にピカチュウの絵の描いた飛行機にも乗せていただきました。又、名古屋の水族館や館山寺温泉、九州のハウステンボスでは、新幹線と色々な経験も貴重なものでした。日々の生活の中では、どの様にすれば最善か色々と考えていただき頭が下がる思いです。

彼にこうして思いを

保護者 田中 実

敦があゆみが丘学園に入園させて頂き、10年になります。いつもお世話になり、ありがとうございます。彼は37歳で話す事ができません。

励んで行きたいと思えます。

温故知新

支援部統括部長 岩雲 浩二

20代、入職して数年でマムシに噛まれ、人生初の入院を経験する。

30代、下手な支援の積み重ねがたたり、ヘルニアを発症し、長期入院、長期療養を余儀なくされる。

40代、膝の靭帯を痛め、短期だが通院療養をする。

とまあ振り返ると、内科的な病気は殆どないが、外科的外傷が多々あった30年であった。

最近、仕事やプライベートで出会う人達の中で「えっ！こんなおっさんが」と思っても98%ぐらいが年下だ。そんな年になったんだとつくづく思う。

若く元気な時は、特に苦痛に感じなかつた事が、やれやれと思うようになってきた。心はまだまだ少年のままなのに……。

50代に入り、心は少年でもやはり体にガタは来ているもので、残りの人生何事も無く乗り切っていけるのだろうか？多少不安があるが、残り少ない職業人生、個性的でちょこっとおいた利用者さんと、お茶目で頑固な職員の方々と「けせらせら」と笑いながら共に明るい未来へ進んでいきたいと思えます。



送っていく時になると、彼にとつてどうしてやるのが幸せなのか、いつも悩みます。朝は、仏壇の前で、夜は就寝

年に数回帰宅させるのですが、帰ってきた時は、喜々として本当に楽しそうです。彼の好きなものは、ギターとバイクです。帰宅すると長瀬剛のDVDを見ながら、ギターを鳴らしています。必ずドライブに行きます。バイクでツーリングしている人に出会うと、手をあげてあいさつをして、喜んでいきます。

前日フトンの上で、彼の幸せを祈っています。日帰り・泊旅行に何回か、夫婦で行かせてもらいました。その時の先生たちの、利用者に対する支援を、仕事とはいえ頭の下がる思いで見えていました。施設での虐待が、マスコミで報道される事がありますが、あゆみが丘学園では決して無いと確信しております。あゆみが丘学園の益々の発展を祈願し、これからも彼のことをよろしくお願い申し上げます。

歩み

看護師 松森 幸美

開園30年の節目をみなさんと迎えられることをとてもうれしく思います。早いもので、私も学園にお世話になり23年目となりました。病院勤務から一変して、毎日散歩に出かけるという、とても健康的な日々を送らせてもらいました。勤めはじめた頃は医療業務の他に、作業、ホーム担当交代勤務もしていました。散歩の他にも利用者さんと色々なことをさせてもらいました。キャッチボール、卓球、缶ひろい、強歩遠足、雪中散歩、海水浴、プール遊び、サークル活動、一緒に歌を聴いたり絵を描いたり……。振り返ってみるとかかわりから色々



長い年月の間に、あらゆる事が変化して行きます。そんな中でも忘れてはならない大切な事は人それぞれにあると思います。私にとつての大切な事。それは「初心を忘れず」「この事をもう一度、自分自身に言いさかせ1日1日



日課が楽になります

日中活動委員会

27年10月より従来の日課表が大きく変わります。開園以来全利用者が各グループ（作業班）に所属し日中活動（作業）を行ってきました。しかし年々高齢化等にてグループ活動が難しくなり、30年頑張ってきた農耕作業は終わりを告げました。

新しいグループは「リサイクル」洗濯・清掃の2グループです。リサイクルグループは今までのように『ねむの木』にてアルミ缶つぶし、銅線皮めくり、紋紙ばらしを行います。洗濯・清掃グループは園内の洗濯、清掃を行います。また、グループに入らない利用者は個別支援という個々に応じた活動を行います。散歩、リハビリ、ドライブ、入浴、ビデオ鑑賞等を考えています。編成は利用者の方の希望を聞きつつ、リサイクル25名、洗濯・清掃9名、個別支援44名です。新日課表に基づいた新たな日中活動、個別支援が始まります。開始後も活動内容の見直しを予定しています。

あの頃私達は若かった

作業服に着替え、鍬を持ち畑までトラクターはなくとも、スコップと鍬で畝を作りました。

暑い日は汗をかき、冬はジャンパーを着、五十河の里を歩きました。たくさんさんの洗濯物の毎日。月に一度3時のおやつ作りも工夫しました。

新しい日課表

午前 10時～11時30分 午後 13時30分～15時
水曜日の午前、会議のある週の木曜日午前は園内消毒

	月	火	水	木	金	土	日
AM	洗濯 個別支援 リサイクル	個別支援 (散歩)	個別支援	個別支援 (散歩)	個別支援 リハビリ	個別支援	
PM	個別支援 男性入浴 (要介助者)	個別支援 (ドライブ)	ホーム活動	個別支援 女性入浴 (要介助者)	個別支援 リサイクル	女性入浴 (全員)	男女入浴 見守り
15:30	男性入浴 見守り	女性入浴 (全員)	男性入浴 (全員)	女性入浴 見守り	男性入浴 (全員)		

夏場はアルミ缶の最盛期。分別、缶つぶし、袋詰め。主役はB班の私達でした。

学園の中で過ごすことが多くなる中、健康で楽しく、意欲的に参加できるような難しい中ですが努めています。



5月のバス旅行ではUSJへ行きました。5月中旬ではありますが、天候に恵まれ汗ばむくらいの絶好の旅行日和となりました。学園を出発し2時間半バスに揺られ目的地USJに到着しました。平日にもかかわらず多くの人で賑わいを見せ、とても楽しい雰囲気を感じワクワクされていました。

USJに着くとまず昼食をとり、その後待ちに待ったアトラクションです。最初にスパイダーマンに3Dメガネをかけ車内に乗り込みました。目の前に映し出される映像はすぐくリアルで飛び出して来ているようで、迫力満点でした。次のアトラクションはUSJ名物のジョーズへ行きました。今度は船に乗り込みみぞ出発です。水中からはサメがいつ襲ってくるか分

生活支援員 奥田 大介

USJに着くとまず昼食をとり、その後待ちに待ったアトラクションです。最初にスパイダーマンに3Dメガネをかけ車内に乗り込みました。目の前に映し出される映像はすぐくリアルで飛び出して来ているようで、迫力満点でした。次のアトラクションはUSJ名物のジョーズへ行きました。今度は船に乗り込みみぞ出発です。水中からはサメがいつ襲ってくるか分



その後はパーク内で買い物をしました。スパイダーマンのTシャツを買う方や腕時計、また人形など各好きなものを買うことができて満足そうでした。USJでの食事、アトラクション、買い物に充実した一日を過ごすことができ、来年も計画を立てて実施したいと思います。

ありがとうございます！あゆみ続ける30年の思い出

貸借対照表

平成27年3月31日現在

資産の部		負債の部	
	当年度末		当年度末
流動資産	255,414,790	流動負債	87,072,239
現金預金	194,770,476	未払金	86,695,841
現金	26,220	預り金	376,398
預金	32,044,256		
定期積金	17,700,000		
定期預金	145,000,000		
未収金	60,636,714		
立替金	7,600		
固定資産	730,824,988	固定負債	59,592,572
基本財産	349,467,539	設備資金借入金	2,500,000
建物	245,134,302	退職給与引当金	57,092,572
建物附属設備	1,359,930		
土地	102,973,307		
その他の固定資産	381,357,449		
建物	30,018,537	基本金	270,646,055
建物附属設備	49,894,161	基本金	270,646,055
構築物	14,750,138	国庫補助金等特別積立金	161,154,925
機械及び装置	968,469	国庫補助金等特別積立金	161,154,925
車輛運搬具	3,432,948	その他の積立金	152,000,000
器具及び備品	5,299,557	移行時特別積立金	92,000,000
建設仮勘定	80,992,820	修繕積立金	60,000,000
権利	348,671		
ソフトウェア	3,750,047		
移行時積立預金	92,000,000	次期繰越活動収支差額	255,773,987
退職共済預け金	39,804,231	次期繰越活動収支差額	255,773,987
修繕積立預金	60,000,000	（うち当期活動収支差額）	35,746,501
長期前払費用	97,870	純資産の部合計	839,574,967
資産の部合計	986,239,778	負債及び純資産の部合計	986,239,778

〔注〕 減価償却費の累計額 503,358,475円

資金収支計算書

(自) 平成26年4月1日 (至) 平成27年3月31日

勘定科目		決算
経営活動による収支	収入	
	自立支援費等収入	358,514,272
	経常経費補助金収入	2,301,600
	寄附金収入	2,367,000
	雑収入	3,816,114
	借入金利息補助金収入	157,500
	受取利息配当金収入	430,040
	経理区分間繰入金収入	0
	経常収入計①	367,586,526
	支出	
人件費支出	233,801,501	
事務費支出	26,184,612	
事業費支出	53,043,309	
借入金利息支出	157,500	
経理区分間繰入金支出	294,025	
経常支出計②	313,480,947	
経常活動資金収支差額③=①-②	54,105,579	
施設整備等による収支	収入	
	施設整備等補助金収入	0
	施設整備等収入計④	0
支出		
固定資産取得支出	83,071,893	
施設整備等支出計⑤	83,071,893	
施設整備等資金収支差額⑥=④-⑤	△83,071,893	
財務活動による収支	収入	
	借入金元金償還補助金収入	2,500,000
	積立預金取崩収入	58,890
	その他の収入	0
	財務収入計⑦	2,558,890
支出		
借入金元金償還金支出	2,500,000	
その他の支出	4,132,519	
財務支出計⑧	6,632,519	
財務活動資金収支差額⑨=⑦-⑧	△4,073,629	
当期資金収支差額合計⑩=③+⑥+⑨	△33,039,943	
前期末支払資金残高⑪	201,382,494	
当期末支払資金残高⑩+⑪	168,342,551	



事業活動収支計算書

(自) 平成26年4月1日 (至) 平成27年3月31日

勘定科目		本年度決算
事業活動収支の部	収入	
	自立支援費等収入	358,514,272
	経常経費補助金収入	2,301,600
	寄附金収入	2,367,000
	雑収入	3,816,114
	借入金元金償還補助金収入	2,500,000
	引当金戻入	0
	国庫補助金等特別積立金取崩額	14,725,690
	事業活動収入計①	384,224,676
	支出	
人件費支出	233,801,501	
事務費支出	26,184,612	
事業費支出	53,043,309	
減価償却費	31,584,102	
引当金繰入	3,957,779	
事業活動支出計②	348,571,303	
事業活動収支差額③=①-②	35,653,373	
事業活動外収支の部	収入	
	借入金利息補助金収入	157,500
	受取利息配当金収入	430,040
	事業活動外収入計④	587,540
	支出	
借入金利息支出	157,500	
経理区分間繰入金支出	294,025	
雑損失	0	
事業活動外支出計⑤	451,525	
事業活動外収支差額⑥=④-⑤	136,015	
経常収支差額⑦=③+⑥	35,789,388	
特別収支の部	収入	
	施設整備等補助金収入	0
	固定資産売却益	0
	その他の特別収入	299,658
	特別収入計⑧	299,658
支出		
固定資産売却損・処分損	0	
国庫補助金等特別積立金積立額	0	
その他の特別損失	342,545	
特別支出計⑨	342,545	
特別収支差額⑩=⑧-⑨	△42,887	
当期活動収支差額⑪=⑦+⑩	35,746,501	
繰越活動収支差額の部	前期繰越活動収支差額⑫	220,027,486
	当期末繰越活動収支差額⑬=⑪+⑫	255,773,987
	基本金取崩額⑭	0
	基本金組入額⑮	0
	その他の積立金取崩額⑯	0
その他の積立金積立額⑰	0	
次期繰越活動収支差額⑱=⑬+⑭+⑮+⑯+⑰	255,773,987	

お知らせ

【新入所者紹介】

◎今西菜々さんが平成27年4月1日に入所されました。

【ご逝去】

◎吉川芳春さんが平成27年6月5日にご逝去されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

職員異動 平成27年3月1日〜平成27年7月31日

【新職員】

◎佐野勉さんに平成27年4月1日より生活支援員をお世話になっています。

◎片西大輔さんに平成27年4月1日より生活支援員をお世話になっています。

◎坂根有美子さんに平成27年4月1日より生活支援員をお世話になっています。

◎石本末和さんに平成27年7月27日より生活支援員をお世話になっています。

事務だより

平成27年3月1日

平成27年7月31日(敬称略)

【寄贈】

家城邦子、和泉秀雄、井上美佐枝、(株)入柿水道、たかた、竹内千鶴子、竹中美鈴、(株)玉岡、中井律子、品川貴美子、藤田進、向谷理恵、山中信子、陸整工業(株)

【寄付】

医療法人社団 山吹会 理事長 井上晋吾、中野敏光、廣瀬梱包運輸(株)代表取締役 廣瀬一康、山口ちずえ

【納涼祭協賛企業】

(有)アクアシステム、(有)アクティブジャパン、(株)いととめ、(株)入柿水道、O.A.システムやすだ、大江カメラ、大槻ポンプ(株)、おみや苑、(株)オートプラザイシコ、オリックスファシリティーズ(株)、金子産業(株)、金下建設(株)、桔梗屋醬油(株)、(株)京キユウ、京都北都信用金庫大宮支店、コーワサンクリン、小林プロパン(有)、(有)コマキデンキ、三丹商事(株)、三洋商事(株)、(株)農協観光、シラキ(株)、大宏産業(株)、たかた、田崎書店、たつみ印刷、田中豊工業所、玉岡(株)、玉木石油、丹後乳販(株)、中西でんき、野村理容院、橋田建設(株)、橋本設備、平井電気(株)、平林乳業(株)、マツダ、(株)マルサン、丸中観光バス(株)、三木(株)、(株)水口組、(株)溝川、山田電気商会(株)、(株)山貞組、(株)ゆう建築設計、(有)遊農楽舎、陸整工業(株)、(株)ルコモコ、ROOM Hair

リサイクル作業

(アルミ缶・銅線・ヘルマーク・古紙回収)の協力いただいた方



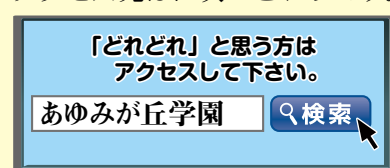
平成27年3月1日

平成27年7月31日(敬称略)

相見美佳、安達良史、安達酒店、安達電気、新井孝弘、芦田完二、五十嵐屋商店、生野電気、池田高信、石河(有)、いととめEAT店、稲岡嘉郎、稲岡晴子、岩佐利夫、今西久野、梅田歯科医院、エナジールランド大宮、えびす電気工事店、エルクラブ・オオミヤ、大宮北保育所、大宮第一小学校、大宮第一小学校PTA家庭教育委員会、大宮南保育所、岡島三協製作所、岡田喜美子、岡田福治、オギノ電機、お茶のみ友だち、小笹フサコ、掛津区観光部、金子産業(株)、河内山豊美、京都日産自動車(株)、小池食料品店、河野哲朗、小西デンキ、コマキデンキ、米トウタイ、後藤鉄工所、笹岡昭義、笹岡儀和、サニーアイランド、シラキ(株)、末次電気商会、宋徳建設(株)、玉木明司、大同享子、大同宏子、高田曉美、でんき館やました、中村久美子、西田建設、西原謙次、畑中酒店、林範尚、番場電気商会、日達利雄、平井電気、フリーク、フルーツ王国やさか、藤村順一、堀敏雄、堀博昭、堀保彦、堀江栄志、堀鉄工所、ホリロク(株)、マジカル、まるぜん書店野田川店、まるぜん書店加悦店、水口組(株)、水口進、峰山鉄工所(株)、宮尾倍行、村井春雄、矢野辰雄、矢野博、ヤマモト電化サービス、由利徳七、よざ電工(株)、吉岡電気工業、吉田電

ホームページのお知らせ

今年4月よりホームページを開設しました。旅行、行事などは、担当が紹介させていただきます。アクセス先は、次のとおりです。



気商会、吉村食料品店、(株)吉岡設備、(株)吉岡商店、(株)ルコモコ、ローソン大宮町周知店、ローソン男山店、ワタマサ、BGRセンター、明田・遊・五十河・芋野・口大野・尉ヶ畑・三重・森本・吉沢地区の皆さん、保護者の皆さん

編集後記

「暑い!!」が禁句となつた今年の夏。しつかり食べぐつすり眠る。そして涼しくなる秋を待つ。これしかありません。

さて、学園も開園以来30年を迎えました。特集はいかがでしたか。保護者、職員の違い、個性あふれる内容でベリーグッド!!

立秋の日に

大暑すぎ 身も心も溶けゆきて 秋はまだ名のみと知るや風も止み

磯竹生